
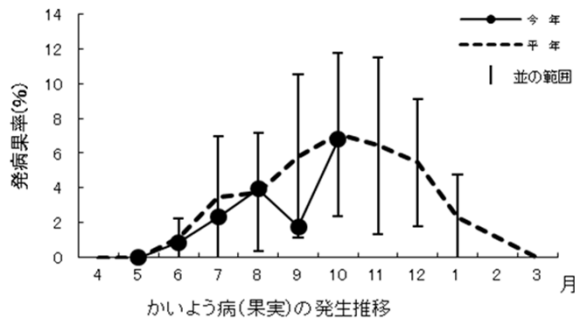


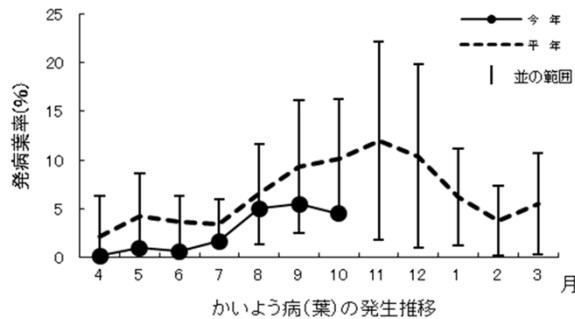
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
10月の発生量 (現況)	並		
11月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	発病果率の平年の発生推移より、10月より発生量は減少すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

(果実)



(葉)




防除のポイント

- ・罹病枝などの病斑が伝染源となり、台風による葉や枝の傷口（風傷）は感染を助長することから、台風前後ともに薬剤防除を行う。
- ・本病はミカンハモグリガによる食害痕から発生しやすく、翌年の伝染源になるので、ミカンハモグリガ被害葉の除去に努める。

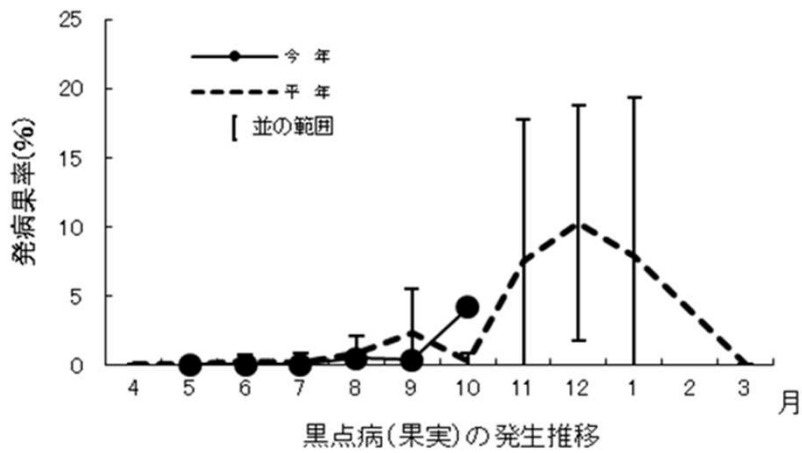


被害葉

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
10月の発生量 (現況)	多		
11月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	発病果率の平年の発生推移から、10月より発生量は増加すると考えられる。		


発生量の根拠 (調査結果)

(果実)



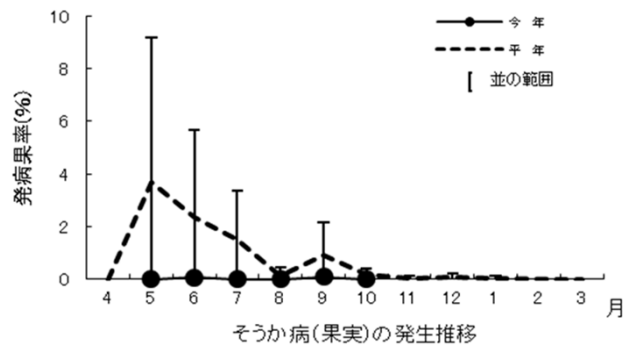
防除のポイント

- ・ 周辺の防風樹も含め、枯れ枝は処分する。
- ・ ほ場内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

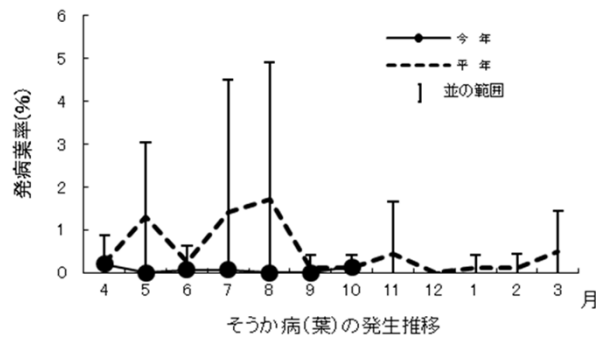
作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
10月の発生量 (現況)	並		
11月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病果率の平年の発生推移から、10月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

(果実)




(葉)

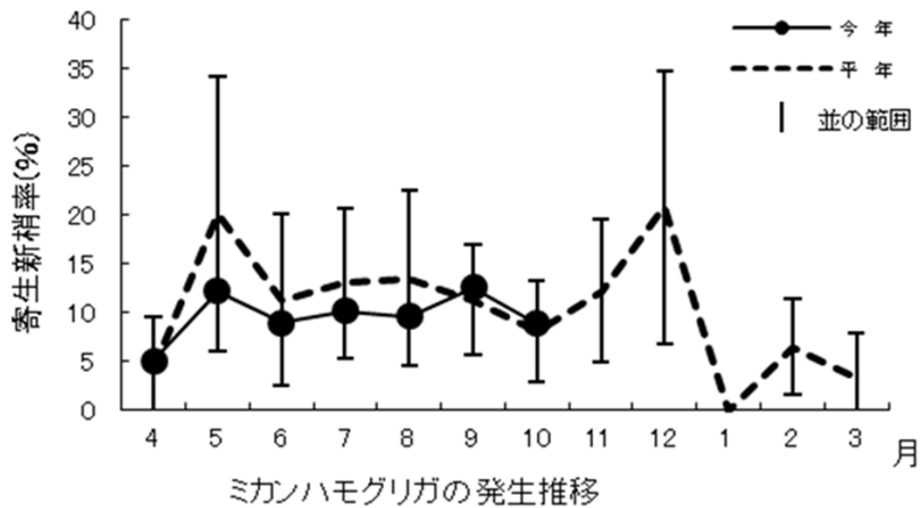


防除のポイント

- ・罹病葉・枝は伝染源になるので除去する。


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ミカンハモグリガ		
10月の発生量 (現況)	並		
11月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生新梢率の平年の発生推移から、10月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)

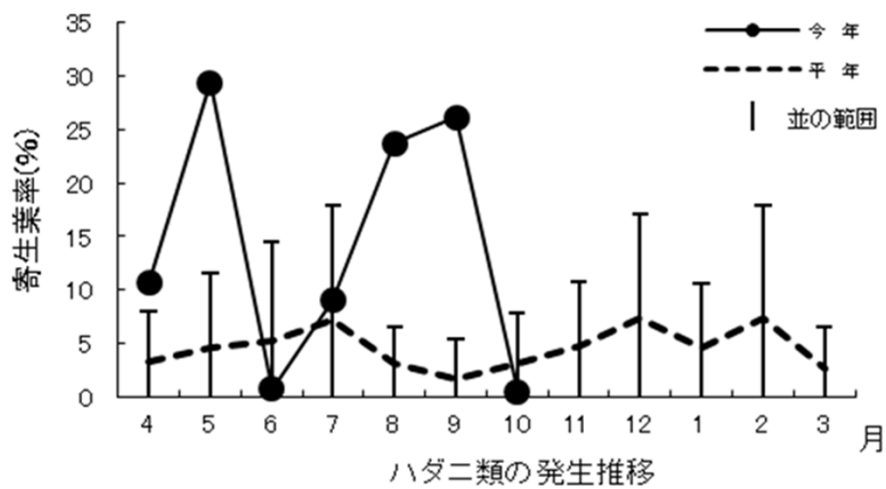


防除のポイント

- ・被害葉にかいよう病が発生しやすく、翌年の伝染源になるので除去に努める。
- ・被害が目立つ場合は薬剤による防除を行う。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	⑤ ハダニ類		
10月の発生量 (現況)	並		
11月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、10月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠 (調査結果)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状